

瀬戸内海の離島5島の小中学生16名による
 ~島の音楽会スペシャルコンサート~

子供たちと一緒に
 会場全員で「椰子の実」を
 歌いましょう。

~テーマソング~
 「椰子の実」

【出演のみなさん】

- ★ 上関町立 祝島小学校 (山口県)
 - 岩国市立 柱島中学校 (山口県)
 - 玉野市立 胸上小学校石島分校 (岡山県)
 - 松山市立 興居島小学校釣島分校 (愛媛県)
 - 丸亀市立 小手島小中学校 (香川県)
- 各全校生徒16名のみなさん

★ 畑 儀文 (指揮・テノール歌手)

- 李広宏 (テノール)
- 大森幹子 (足踏みオルガン)
- 春木浩子 (ハーブ)
- 城村奈都子 (ピアノ)
- モザールマンドリンオーケストラ

小さな島・小さな歌から
 大きなパワーを感じてください。
 5つの島の子どもたちが歌う
 「うた★島めぐり~島の音楽会
 スペシャルコンサート~」。光
 る海、樹々のおい、子供の笑
 い声、潮騒など心のふるさを
 日常で忘れてはいませんか。懐
 かしい「ころの忘れもの」を
 清々しく想い出してください。

ころの忘れもの、島で見つけましょ

2011年 2月26日(土) 開演 1:30PM 開場 12:45PM

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22

- 阪急神戸線「西宮北口」より南へ徒歩2分
 - JR「西宮」より北東へ徒歩15分
- (西宮駅北側ターミナル1番のりばから、
 阪急バスにて「西宮北口駅」下車)

■主催/「島の音楽会」実行委員会

■後援/(財)日本離島センター/国際ソロプチミスト六甲/アメニティ2000協会/西北活性化協議会/西宮市合唱連盟/日本リードオルガン協会/甲子園の歴史と文化を守り育てる会

前売開始日
 11月20日

(入場料金(税込)) 前売・当日とも
 大人2,000円、中高生1,000円、
 小学生以下無料(要整理券)

チケット予約
 お問合せ

「島の音楽会」実行委員会 事務局
 ☎&FAX: 06(6373)6057
 E-mail: claudel@ac.auone-net.jp

芸術文化センターチケットオフィス
 ☎0798(68)0255
 10:00AM~5:00PM (月曜休み※祝日の場合翌日)

※チケットの払い戻しは応じかねますので予めご了承ください。※小学生以下の整理券は「島の音楽会」実行委員会事務局にお問い合わせください。
 ※写真撮影、録音、録音等は一切禁止させていただきます。



うたを通して島の魅力を伝えたい

畑 儀文の『島の音楽会』

それは、テノール歌手 畑 儀文の夢から始まりました。

「小さな島の子供たちに合唱の楽しさを知ってほしい」

彼はその夢を叶えるべく、2001年、春から夏にかけて、生徒数10人未満の島の小中学校を訪れ、歌の指導をしてまわりました。その年の秋に実現した音楽会は夢のように素晴らしいものとなり、島の子どもたちは、人と人とが声を出し合って歌い、結びつくことの楽しさを胸に抱きながら再び島に帰っていきました。

時は流れ2009年、島の子どもたちが8年ぶりに集結しました。会場は、前参加校であった「大多府小学校」です。残念ながら閉校になってしまった大多府小学校で、「小さくてもいい、いつまでも続く手作りの音楽会を」という新しい夢が加わり、『第1回島の音楽会』が開催されました。島に響く子どもたちの歌声は多くの感動を呼びました。そして『第2回島の音楽会』を経て、2011年2月26日に、「うた★島めぐり～島の音楽会スペシャルコンサート～」を迎えようとしています。



撮影：山口 敦



協賛・支援のお願い

「うた★島めぐり～島の音楽会スペシャルコンサート～」の開催に当って協賛・支援して下さる個人・団体を募集しています。2011年2月26日のコンサート当日、瀬戸内地域の子どもたちが集います。実行委員会では個人、団体の皆様からの協賛金を子どもたちと引率者の旅費・宿泊費等に充てさせていただきたいと考えています。趣旨にご賛同の上、ぜひ皆様の温かいご支援をお願い致します。

「島の音楽会」実行委員会
委員長 勝本 早織
事務局代表 中村 朋子

【協賛金・ご支援申込方法】

下記口座にお振込をお願い申し上げます。
ゆうちょ銀行〇九九店（大阪駅前第2ビル内）
（振込先名義）勝本 早織（かつもと さおり）

- ATMご利用の場合
【支店番号】099 【当座】0311866
- 振替用紙ご利用の場合
00940-7-0311866

『島の音楽会』の取組みが紹介されました。（2010年8月23日 山陽新聞朝刊 24ページ）

離島の子どもも合唱

備前市 大多府島 4県16人招き音楽会

備前市沖の大多府島の島の学びやに歌声を
入場した約100人
も加わり「夏の思い出」
などを合唱。ピアノや
打楽器演奏もあった。
全校児童1人の胸上
小石島分校から参加し
た土手大輔君(11)は
「遠い島の子どもたち
と大勢で歌うことがで
きてうれしい」。大多
府小の校長を務めた的
野豊さん(66)は備前市
徳浪は「合唱で子ども
の心が育っているの
がよく分かり、感動し
た」と話していた。



離島の子どもたちが合唱を披露した「島の音楽会」

大多府小は2008
年3月に閉校。音楽会
は、少人数で合唱の機
会が少ない子どもたち
のために、同小と交流
のあった武庫川女子大
（兵庫県西宮市）音楽
学部の畑儀文教授らが
企画した。子どもたち
は、来年2月26日に西
宮市でもコンサートを行
う。（藤田勝久）

山陽新聞社提供